

(案)

平成 22 年 月 日

(社) 日本糖尿病協会  
友の会会員のみなさま

(社) 日本糖尿病協会  
理事長 清野 裕

### 日本糖尿病協会の会費値上げについて

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は日本糖尿病協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、本年 5 月の総会において、友の会における日糖協会費の値上げが議決され、平成 23 年度上期からの実施が承認されました。これにより、23 年 4 月から、現在友の会の会員一人当たり 100 円/月の会費が 200 円/月となります。

会費を値上げすることは、会員の皆さんにご負担を強いることとなります。そのため、なぜ会費値上げが必要なのか、なぜ 200 円/月になったのか、値上げによって日糖協は何が変わるのか、といったことをこれから皆さんにご説明いたします。日糖協の現状、今後の展開などをご理解いただき、これからも特定公益増進法人として社会に貢献する日糖協の一員として、協会活動にご協力いただけると幸いです。

敬具

## ＜なぜ会費を値上げするのか＞

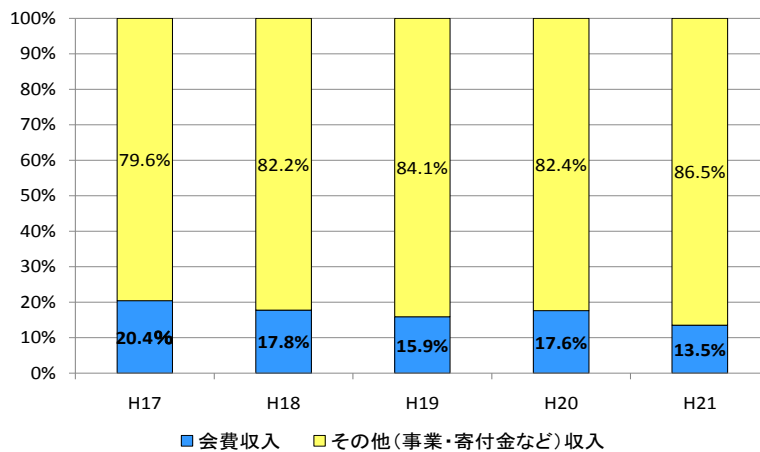
### 理由1： 財務体質の健全化の必要性

ここでは、日糖協の収入構造についてご説明します。

現在の日糖協の収入の大半は、糖尿病連携手帳などのグッズを協賛企業に販売して得た収入と、調査研究、企業からの寄付が占めています。(図1) これらは景気の影響を受けやすく、好況時はよいが不況時には収入が大きく減少することになります。 現実には、ここ5年間の決算を見ても、赤字決算と黒字決算が交互に現れ、さらに翌期に繰り越せる資金量が激減するという状況に陥っています。(図2)

この状況を少しでも改善するためには、固定的な収入の割合を増やす以外にはなく、会員組織の収入の基本である会費の見直しが浮上しました。

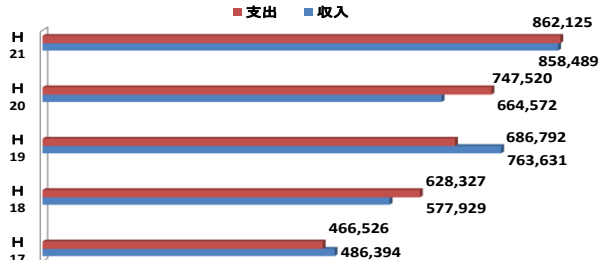
### 日糖協 平成17～21年度 収入の内訳



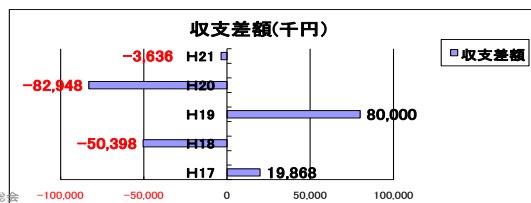
2010/5/30 総会

(図1)

### 年度別収入&支出 (千円)



### 収支差額(千円)



2010/5/30 総会

(図2)

## 理由 2 : 新公益法人への移行にともなう会費二重構造の是正の必要性

新公益法人法（平成 21 年 12 月施行）に基づき、すべての社団法人は、平成 25 年までに一般社団法人か公益社団法人への移行認定申請を行う必要があります。この申請を行わないと、日糖協は解散しなければなりません。

日糖協は、平成 23 年度に公益社団法人格の取得申請を目指して準備をすすめています。取得要件として、1つの団体における「会費」は一本化される必要が出てきました。

現在、日糖協が設定している会費は、友の会から徴収する会費が 100 円/月（1,200 円/年）、本部会員会費が 3,500 円（年）であり、2 つの会費金額が存在します。これを一本化しなくてはなりません。

そのため、友の会会費も本部会員会費も一人当たり 2,400 円/年で統一し、本部会員には別途、協会誌「さかえ」送料 1,100 円/年をご負担いただく、という形を取りたいと考えています。

### <なぜ 200 円/月になるのか>

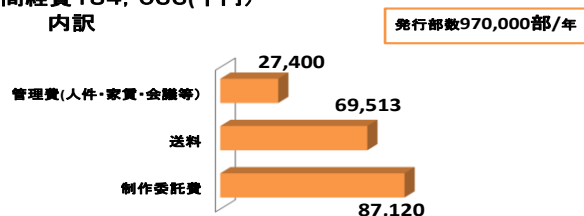
ここでは、友の会会費が何に使われているかを中心にご説明します。

日糖協では、会員に毎月協会誌「さかえ」をお送りし、糖尿病の正しい知識の獲得に役立てていただいています。友の会から本部が徴収する会費 100 円/月は、全額を「さかえ」の発行費・送料として使用しています。

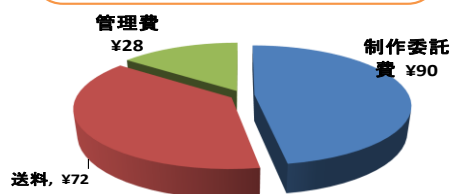
しかしながら、「さかえ」を 1 冊制作して会員に届けるために、現在、約 190 円がかかります。(図 3) それに対し、本部は会員からは 100 円/月しか徴収していないため、会員一人当たり、90 円の赤字が発生している状況です。この状況を続ける限り、会員が増えるとそれだけ日糖協の赤字が増加するという体質になってしまっています。

この構造を是正するために、本部でも「さかえ」のページ数や紙質を変更するなどの経費削減を図っていますが、やはり抜本的な改善には至りません。そのため、会費変更額を「さかえ」発行に必要な費用がカバーできる 200 円/月（2400 円/年）とさせていただきたいと考えています。

「さかえ」年間経費 184,033(千円)  
内訳



「さかえ」1冊あたり190円の内訳



## ＜会費値上げによって日糖協はどうなるのか＞

会費を値上げさせていただき、収支が好転した際は、公益法人としてこれまで以上に糖尿病患者さんの支援（図4）と社会全体の糖尿病予防（図5）にまい進したいと考えます。

中でも友の会会員の皆さんに直接関係が深いのは、各都道府県の糖尿病協会支部の活動の強化です。

現在、本部から支部活動を支援する費用として、支部交付金（基礎金100,000円+会員数×150円/年）を支出しています。会費を値上し、拡大した収入の中から支部活動に支出する費用を増やすことで、各地域の糖尿病患者さんのサポート（共益）や、一般社会への働きかけ（公益）を強化することが可能になると考えました。

23年度からは、会員増強に努めたり活発な事業展開を行う支部に対し、支部交付金を事業費に改めて、大幅な増額を実施する予定です。これにより、支部は傘下の友の会の活動を様々な面から支えることができるようになり、友の会会員に充実したサービスが提供できるようになります。

### 糖尿病患者さん（友の会会員）へのサービス

## 「療養支援」

- ・療養グッズの発行、無料配布
  - └「糖尿病連携手帳」
  - └「自己管理ノート」
  - └「IDカード」「海外旅行用英文カード」

- ・ウォークラリー
- ・小児糖尿病サマーキャンプ
- ・全国ヤングDMカンファレンス
- ・糖尿病友の会での患者、家族の支援






社団法人日本糖尿病協会
Japan Association for Diabetes Education and Care

(図4)

### 公益法人としての社会貢献

## 「普及啓発」

- ・月刊「糖尿病ライフさかえ」の発行
- ・糖尿病シンポジウムなどの全国的な講演会
- ・ヘモグロビンA1c認知向上運動などのキャンペーン
- ・「健康いきいき体操」(エアロビク)の展開
- ・世界糖尿病デー、全国糖尿病週間






社団法人日本糖尿病協会
Japan Association for Diabetes Education and Care

(図5)